

第 2 回 まちづくり講座

日時：9月19日(金)午後7時30分～午後8時40分

会場：上富田文化会館 2階小ホール

演題：「最南端のまちから ロケット最先端のまちへ」

－ 「カイロスロケット」打ち上げに至るまで －

講師：串本町 企画課・課長 なだますや 名田 倍也 氏



【名田 倍也 氏のプロフィール】



名田氏は、昭和40年生まれ、本州最南端・串本町で生まれ、串本高等学校を卒業。愛知県内の大学卒業後、平成2年に串本町役場に奉職。

くしもと町立病院の事務長を経て、令和4年4月から、広報、ふるさと納税、財政、そしてロケット事業等を所管する企画課・課長に就任。

現在、国内民間初のロケット射場「スペースポート紀伊」

から、カイロスロケット3号機の打ち上げに向け、県内外でのPR活動や地域振興事業の推進、発射時の渋滞対策などに取り組んでおられます。

串本町では、現在、種子島宇宙センター、内之浦宇宙空間観測所に次いで日本では三番目、また民間事業者としては初となる「スペースポート紀伊」が建設されています。昨年(令和6年)は、多くの観客が来町され、初号機、2号機が打ち上げられましたが、残念ながら「人工衛星の軌道投入」という最終ミッションは果たせませんでした。しかしながら、現在3号機の打ち上げに向け、和歌山県をはじめ、隣接する那智勝浦町とともに、見学者の受入体制や、更なる地域活性化の取り組みを進めているところです。

串本町では「最南端のまちからロケット最先端のまちへ」をスローガンに、町民の機運も大いに高まっているところですが、このロケット事業は、決して串本町と那智勝浦町だけのものではありません。2030年代には年間30基の打ち上げが計画されていることから、紀南地域全体を活性化させる起爆剤となりうるものであり、今後、紀南地域への集客だけでなく、「宇宙・ロケット産業の誘致」とそれに伴う「雇用の創出」等を目指して、それぞれの市町村が連携していかなければならないと考えています。